



中秋の候、秋色もようよう濃くなって参りました。

まずは集中豪雨や台風で被災されました皆様には謹んでお見舞い申し上げます。私も豪雨の中、市内を巡回し被害状況を把握してまいりました。今後は災害に対する本市の問題点を検討し、改善していきたいと思っております。

さて、秋はスポーツの季節です。9月には本市の小・中学校で運動会・体育大会が開催されました。子ども達の頑張っている姿や、楽しそうな笑顔に触れ合うことができ、喜ばしい限りです。これからもこのような機会を大切にしていきたいと思っております。

私事ではありますが、11月13日(日)にマラソン大会に参加する予定です。10km 完走を目指して頑張りますので、応援よろしくお願い致します。

9月定例会 一般質問

●集中豪雨(ゲリラ豪雨)の対策について

近年、都市近郊のごく限られた場所で、短時間に発生する猛烈な集中豪雨に見舞われる頻度が増えてきています。本市でも、8月2日の集中豪雨では最大降雨量が1時間121ミリに達し、床上浸水4棟、床下浸水82棟、アンダーパス通行止め8カ所、道路冠水13カ所の被害が出ました。そこで、集中豪雨に対する清須市の対応及び対策について聞いてきました。

大塚 8月2日集中豪雨時の保育園・幼稚園の帰宅状況について

市職員 閉園時間(19時)の帰宅困難園児数は60名で、その後、各園2、3名の職員で対応し、21時に全園児の保護者への引渡し完了しました。また、児童館については、保護者の帰宅が遅れたため、23時25分の引渡しが最終でした。

大塚 47計画及び下水道工事業における雨水貯留施設設置の進捗状況について

市職員 47計画における進捗率は、約78%です。(目標20,330㎡、設置済15,830㎡<H27年度末>) また、今年度は枇杷島公園に貯留量1,000㎡の施設を設置予定です。下水道工事業における進捗率は約17%です。(計画28,020㎡、設置済4,800㎡<助七公園>)

大塚 災害時に走行できる公用車取得の検討について

市職員 4WD車等の災害用公用車導入を、今後の買換え計画の中で検討していきます。

災害時は車高の高い車が必要じゃ！
8ナンバー登録で緊急車両として使用可能でござる。



土田幹線(福田川への放流)と西清洲ポンプ場(清洲小南)の整備が、新清洲駅南側道路と中日信金前面道路の冠水軽減につながるのじゃ！

大塚 新川流域以外での雨水貯留施設の必要性について

市職員 新川流域以外の区域でも公園などに貯留施設を設置する必要があると考え、公共施設などの建設・公園などの工事に合わせて行っていきます。

大塚 避難所へのマンホールトイレの設置について

市職員 下水道供用開始区域の避難施設においては、設置方法について関係部署と調査・研究中です。

災害時に備え、簡易トイレの備蓄を増やすと共に、分流式下水道供用区域には、マンホールトイレの整備が必要じゃ！マンホールトイレには、本管直結型・流下型・貯留型・便槽型があり、効果を検討し選択せねばならんのじゃ！



大塚 公共下水道工事(雨水に対して)の進捗状況について

市職員 雨水幹線の整備状況は、約60kmの計画の内、約22kmが整備済で、進捗率は約37%です。ポンプ場の整備状況は、毎秒約80㎡の計画の内、毎秒約58㎡で、進捗率は約72%です。

大塚 名鉄新清洲駅構内の広域・指定避難所(清洲小学校)案内誘導図の活用について

市職員 8月2日集中豪雨時の帰宅困難者からの問合せは0件でした。今後は「バードマップ」「水害対応ガイドブック」のURL案内や閲覧配布ができるように検討します。また、案内誘導図は五条川堤防を通るルートとなっており、水害時には危険があるため、あらゆるシミュレーションを検討していきます。

●9月20日に集中豪雨に見舞われました

累加降雨量：160.5mm 最大1時間降雨量：70.5mm(16:30～17:30)

・被害状況

人的被害：死亡1名

アンダーパス冠水に伴う水没車両：計5台

アンダーパス通行止め：計7カ所

【清須市の対策】

アンダーパス表示灯の点検を実施

路面標示の見直し

災害対策用エア遮断器の取付を愛知県と協議

注目ニュース



表示灯の点検



路面標示見直し案【参考】



エア遮断器【参考】

☆☆☆☆☆日頃の活動をご紹介します☆☆☆☆☆

●視察報告

○福島県広野町と南相馬市で東日本大震災や原発事故からの復興状況を視察してきました。



広野小・中学校



除染パック(放射線を浴びた廃材・土等)



帰宅困難区域の現状

広野小・中学校は、隣接するいわき市の学校を間借りし、H23.8.25と10.1に授業を再開。元の校舎での授業再開はH24.8.27。
広野町の現在の除染進捗率は、一般住宅等97%、道路から20m範囲の森林95%、空き地等99%、農地99%。
南相馬市の一部は帰宅困難区域に指定されており、今尚いつ解除されるかわからない状況です。その他、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町が帰宅困難区域に指定されています。

○熊本県益城町で熊本地震からの復興状況を視察してきました。

断水が続き、熊本県内の避難者が最大18万人を数えた熊本地震の避難所では、トイレ不足が深刻な問題となりました。益城町では、一部の避難所に災害に備えマンホールトイレが整備されていたため、「水洗で悪臭がしない」や「洋式で段差がなくて楽」といった声が挙がるほど、マンホールトイレが威力を発揮したようです。

倒壊家屋については、多くの自治体で、職員の不慣れ等により罹災証明書の発行が遅れ、また、国からの支援金が最大300万円と、建替え費用には不十分ということもあり、復興状況は滞ったままとなっています。



益城町マンホールトイレの仕組み・外観・内観



倒壊家屋等の状況

●地域活動への参加



「グランドゴルフ大会」を開催
沢山の方にご参加いただき楽しい大会となりました。ありがとうございました。



「夜間ハビーム促進式」



「清洲小学校運動会」



「清洲中学校体育大会」



「五条川美化活動」



「西市場1・2・3丁目防災訓練」



「西市場1・2・3丁目氏子・子ども会合同行事」

大塚よしゆき
清須を良くする会
(後援会)

〒452-0941 愛知県清須市西市場一丁目9-6
TEL・FAX：052-400-7937
MAIL：otsuka.yoshiyuki0712@gmail.com